

第 2 回 地域づくり部会 会議概要

日 時	令和 5 年 5 月 25 日 (木) 午後 3 時 00 分～午後 4 時 00 分
会 場	豊栄地区公民館 大講堂
出席委員	菊地委員、阿部委員、前田委員、恩田委員、佐久間委員、清水委員、小熊委員 佐藤委員、川島委員
欠席委員	
事務局 関係課	阿部建設課長、横木産業振興課長 地域総務課 (中川補佐、伊藤主査、伊藤副主査)
会議要旨	<p>1 自治協議会運営指針について 事務局より説明 (自治協議会の役割について改めて説明)</p> <p>2 区ビジョンまちづくり計画の現状・課題、取り組みの説明 建設課、地域総務課、産業振興課による実施計画の説明 〔主な意見〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・松浜のグミの木植樹について (成長に時間がかかりすぎるのでは) →時間はかかるが長い目で続けていく (木は着実に成長している趣旨説明) ・除排雪について、北地区の除雪に問題があるのではないか。 (豊栄地区優先になってしまった。細い道路もある) ・避難勧告が出た場合の避難行動について (津波も) ・ミサイルに対する Jアラートの対応について ・福島潟のヒシの実などの資源活用について <p>3 令和 5 年度 調査・研修のテーマについて 部会長より、テーマ、目的、実施、評価の一連の流れがある旨説明 (協議会の場で完結するのではなく、その先に広げられる課題が望ましい。 アウトリーチの重要性を説明)</p> <p>委員からの発言</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で話し合い、ディベートや検討 (場合によっては有識者を招く) などし、市長へ提言をしたい。テーマは除雪、避難所の運営体制 (指導者育成) など? →「市長とすまいるトーク」でも市長より説明があったとおり、かきわけ除雪の協力が不可欠であり、市は幹線道路から除雪するため、限界がある。 ・市の除雪体制に対する苦言にしかならない恐れがある旨の意見。 ・市で既にやっていることではなく、部会で取り組めることもあるのでは。 ・2回目であるが、議論に終始し、進展がないように感じる。 ・事務局に交通整理してほしい趣旨の意見

(今回宿題であるテーマ研究の意見書を集約してほしい、委員が提案した課題に対する事務局の考えも知りたい)

総括

- ・これまでの会期は前年度の決められたテーマがあったが、今期からは現部会のメンバーでテーマを決定できる強みを生かしたい。
- ・次回の部会では意見書をもとにテーマ決定を行う

以上

第 2 回 福祉教育部会 会議概要

日時	令和 5 年 5 月 25 日 (木) 午後 3 時～午後 3 時 50 分
会場	北区役所 301 会議室
出席委員	遠藤副部長、佐藤(康)委員、有田(一)委員、佐藤(茂)委員、竹島委員、三浦委員、佐藤(哲)委員 7 人
欠席委員	清水部長、此村委員、日下委員
事務局	高山健康福祉課長、渡辺豊栄地区公民館長、上村教育支援センター所長、立川区民生活課長補佐、近藤地域総務課長補佐、深沢 (地域総務課)
会議 要旨	<p>1. 議事</p> <p>区ビジョンまちづくり計画の現状・課題、取り組みの説明</p> <p>各課から「北区区ビジョンまちづくり計画」と実施計画を基に、各項目の課題とそれに対する事業の説明がありました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康、福祉、子育てについて (健康福祉課) ・教育について (北区教育支援センター、公民館) ・防犯・交通安全について (区民生活課) ・協働について (地域総務課) <p>調査・研究のテーマについて</p> <p>事務局から過去 5 年の福祉教育部会の事業内容の資料提供がありました。各自持ち帰って検討し、6 月の部会までに案を提出することとなりました。</p>

第 2 回 自然文化部会 会議概要

日 時	令和 5 年 5 月 25 日（木曜） 午後 3 時 00 分～午後 4 時 30 分
会 場	豊栄地区公民館 視聴覚室
出 席 委 員	伊藤委員、小日向委員、坪木委員、 寺山委員、石山委員
欠 席 委 員	野口委員、諏訪委員、飛鳥井委員、有田委員、小林委員
事 務 局 関 係 課	産業振興課（横木課長）、区民生活課（高野課長）、北下水道分室（五十嵐室長）、地域総務課（東理課長、佐藤）
会 議 要 旨	<p>1. 区自治協議会・部会の役割について 「新潟市区自治協議会運営指針」、「北区自治協議会部会の設置及び運営に関する要綱」を参考に事務局から説明</p> <p>2. 区ビジョンまちづくり計画 部会所管分野の現状・課題・取り組みについて</p> <p>①自然環境活用、観光交流、文化・スポーツ：産業振興課 環境保全：区民生活課、浸水対策：北下水道分室 より説明</p> <p>②質疑応答 ・事業についてはわかったが、課題は何と考えているのか？ ⇒（区民生活課）現在環境保全活動を積極的にされている方々は大勢いるが、そのあとに続く担い手がいないのが課題と考えている。そこで、今年度は親子参加型の観察会を開くなどして、次世代の子どもたちに自然の魅力を知ってもらい、保全活動に興味をもってもらいたいという思いで取り組んでいる。</p> <p>3. 今年度調査・研究したいテーマについて 事前にいただいた意見を説明し、その他上記内容を聞いたうえでやりたいことについて、それぞれ意見を出し合った。</p> <p>・産業振興課の魅力発信事業は、大学生にすべて任せて大学生が感じる魅力を発信するとのことだが、私たちが考えている北区の魅力についても若者に知ってもらえるよう働きかけることも必要だと思う。</p> <p>・魅力発信の方法が、世代により違う（若者は SNS, その他、紙など）。ターゲットをどの世代にするかにより発信方法が変わるので、そこをよく検討する必要がある。</p> <p>・北区の魅力を知ったうえでそれを伝えられる活動をするために、北区を巡りたい。</p> <p>・フォトコンテストで、いい写真を集めたのであれば、それをフォトブックにしたり、北区職員の名刺の写真に使ったりして、いろいろと活用してはどうか。</p>

・昨年度作ったカレンダーが令和6年3月までなので、今年度もフォトコンテストをやり、カレンダーを作りたい。

※費用がどのくらいかかるのか確認する（事務局）

・福島潟の動画を、また広く流せるように工夫してリメイクしたい。

・キテ・ミテ・キタク（北区役所庁舎周辺で行うイベント）などで、魅力発信に関するトークセッションを行い、その中で来場者にアンケートをとって発信方法などについて情報収集するのはどうか。

・北区で現在集客ができていない施設などを調査し、現状を知ったうえで、集客を増加させるお手伝いをしたい。そのために、各施設の話を知りたい。

次回

今回でた意見をまとめて事前送付し、追加があれば提出してもらったうえで来月調査・研究内容を決める。